

<福島県納税貯蓄組合連合会長賞>

私たちの幸福のために

喜多方市立高郷中学校

3年 齋藤 優佳

「8%」この数字からイメージするもの。それは多分、日本の全ての人が、「消費税」だと思います。今年の4月から、消費税が5%から8%へと増税しました。以前は100円の品物に5円の税がかかって105円となっても、分かりやすい数字だから、たいして意識したことがありませんでした。しかし8%になってからは、買い物をしていると消費税が気になるようになりました。私の周囲にも、これ以上消費税が増えてほしくない、増税したらどうなるんだと言っている声が聞かれます。まるで迷惑なものようです。消費税は必要なのか、以前から私は疑問に思っていました。そこでまず税を調べてみると、私たちの生活の大切なところで使われていることがわかりました。警察、消防、学校、道路サービス……。このように私たちが税金を出し合って、暮らしをよくしたり、守ってもらったりしているので、もし税がなければ犯罪が起こっても野放し、私たちの安全は保障されません。万が一火事になっても自分たちで消さなければなりません。このように、税をなくすとするとこの日本は、安心して暮らすことができない危険な国になってしまいます。考えるだけで恐ろしい国へと変貌してしまうのです。また、生まれる前から受けている、健康診断や医療費、私たちの暮らしは健康が基本なのにそれがなくなれば安心できません。さらに、もし教育が有料になったら、お金がない人は、本を読んだり、考えを書いたり、計算することもできないということです。そう考えると、税の重要さを思い知らされます。

外国では、日本よりも税が高い国があります。例えばスウェーデンだと消費税が20%

というとても高い数字です。しかし、なぜ国民から不満が出ないのかというと、色々なサービスがあるからです。例えば医療費は基本は無料、高速道路も無料だそうです。そして学生の学費は一部を除いて無料です。自分で払うのは教科書だけです。一定期間きちんと学校に出席すると奨学金ももらえるのだそうです。例え消費税が高くてもこのようなサービスが充実していれば不満は生まれませんでしょう。

私は税について調べてみて、やはり私たちの生活には欠かせないものだとことを知りました。たとえ払うときは高いと思ってもそれを上回るサービスがあれば、当然のこととして支払うと思います。私たちの生活は税なしでは有り得ないのです。

私は学校まで自転車で通っています。暗い時、ほんのり灯る街灯がどんなに安心できるか知れません。税を払うことも、この道を照らす街灯のようなものかと思います。みんなを出している税が、私たちを守ってくれているのです。だから税を感謝の目で見たいです。みんなで生活を支え合い、幸福に暮らすために納税したいと思います。